

大崎上島町 社協だより

No. 213

2021(令和3)年1月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



赤い羽根共同募金運動に



ご協力ありがとうございました

昨年10月1日から12月までの赤い羽根共同募金運動に各世帯、町内の企業や商店、認定こども園、幼稚園、学校関係のみならずたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度は特に、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、共同募金運動にご協力いただきまして、重ねてお礼申し上げます。

この募金は、大崎上島町の高齢者や子ども、障がい者への支援をはじめ、地域で行われている福祉活動、災害時のボランティア活動に役立てられます。

実績につきましては、次号でお知らせいたします。



赤い羽根共同募金



「年頭のご挨拶」



大崎上島町社会福祉協議会
会長 有田 卓也

あけましておめでとうございます。
皆様おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年から、日本全国で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、なかなか終息に至りません。三密を避けながらの活動も、創意工夫をして地域の皆さんの協力を得ながら進めています。最近では、そのことが「当たり前」のこととなっています。

少子高齢化で、人口減少が急速に進み、見守りや支援を必要としている人は増加する一方で、それを支える人材は圧倒的に不足しています。併せて、隣近所は空き家ばかりで、若年世帯でも住みにくさを感じているよう思われます。そのような状況から、住民同士のつながりが希薄化し、社会的に孤立している高齢者が増えています。

こうした課題に対し、社会福祉協議会では、平成29年度から5年間の地域福祉活動計画をつくり、それに基づいて活動しています。

第1の柱として、「ひとづくり」

新たな活動が出来る人材を養成し、地域福祉活動の継続を図る

第2の柱として、「場づくり」

誰もが気軽に集まることのできる居場所をつくる。

各地域における課題や、個別の課題を協議、解決する場の支援

第3の柱として、「活動づくり」

サロンを活用した小地域での見守り活動

第4の柱として、「つながりづくり」

関係機関や団体と顔の見えるつながりを深める。

以上のような柱を掲げて活動をしています。令和3年度が5年目に当たります。

4年間の活動を検証し、今後の活動につなげていきたいと思ひます。

これからも「地域住民がいつまでも安心して安全に暮らせるように」住民同士のつながりが実感でき、お互いに助け合い思いやりのある地域共生社会の実現のために、大崎上島町社会福祉協議会役員一同、地域福祉の担い手としての役割を十分に認識し努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお祈いします。



今年も地域の方から
手作りのしめ飾りを
いただきました

まち 地域の取り組みをオンラインで発信！

12月13日、宮崎県社会福祉協議会が主催したオンラインイベント「みやざき交流集会」にオンラインアプリZoomを使って参加しました。

このイベントは、コロナ禍においても地域の中で「つながり」や「支え合い」をキーワードに活動している団体や住民をクローズアップして取り組みを紹介し、興味を持たれた参加者と意見交換を行うものです。

この中で『食でつながる新しい「カタチ」』をテーマに、大崎上島町向山区杉の谷班でのオンライン食事会について、円光歩さんと一緒に発表し、意見交換会を行いました。



向山区での取り組みの様子（社協だより令和2年6月号より）

広がれ、助け合いの輪！
みやざき交流集会
on the web **2020**

Date&Time:
12月13日(Sun.)
am 10:30 START

Program:

- 1 食でつながる新しい「カタチ」
- 2 ICTやSNSでつながる新しい「カタチ」
- 3 新しい居場所の「カタチ」

2019年、世代や階級に縛られず、難関などにも関わらず、調音や関心のあることで実際につながることのできるネットワーク作りを目指して「広がれ、助け合いの輪！みやざき交流集会」を開催しました。私たち再次に開催するのは、そのつながりを「カタチ」にしていくこと。

しかし、2年目を迎えた2020年、「新型コロナウイルス」の感染拡大により、日頃から「つながり」や「支え合い」を重要なキーワードとして活動している私たちにとって、はがゆい思いをする日々が続いています。

けれど、今、このコロナ禍にあっても「つながり」を諦めず、様々な工夫をこらしながら、改めて支え合うことの大切さに気付かされてくれる「新たな取り組み」が、全国各地で生まれています。

そこで、2020年の「交流集会」では、そんな県内外の様々な実例を紹介し、悩みや喜びを分かち合いながら、つながりの新しい「カタチ」の作り方について考えます。

Zoomを使用した一歩違う「交流集会」となりませんが、そこにはきっと、地域の課題や課題の向き合い、多くさんの素晴らしい取り組みとの出会いが待っているはずです。

デキルことはそこにある。ナカマはきっと側にいる。

主催：社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 TEL:0985-25-0539 FAX:0985-31-6575
https://www.bura-vola.org

正直、多くの皆さんが「スマホやパソコンなどの機材を持っていない」「操作方法がわからない」といった状況や、「そもそもこの町でコロナが流行っていないからやる必要がないのでは？」などご意見をいただくことが多いです。

実はこの活動の狙いは、「コロナだからやる」のではなく、これから加齢などで足腰が弱り普段から外出が難しい方でも、画面上でもご近所さんと顔を合わせる機会を作りたいという思いも含まれています。今後も地域住民の生きがい活動にも繋がっていくことを期待し、取り組んでいきたいと思えます。

注目!

そこで! 『**オンライン支援ボランティア養成講座**』を開催します! **参加者募集**

<第1回> 座学 de 学ぶ

テーマ「操作など使い方を学ぼう!」

日時: **令和3年2月24日(水)**

13:30~15:00

会場: 木江保健福祉センター(社協本所) **向山区杉の谷班のオンライン食事会の話をしてください!**

備考: パソコン、スマホ等、持参可能



ゲスト
円光歩さん

<第2回> オンライン de 学ぶ

テーマ「オンラインアプリを活用しよう!」

日時: **令和3年3月5日(金)**

13:30~15:00

※オンラインで実施するので、自宅等で受講することができます!



<参加申込みについて>

【申込方法】電話もしくはメールにて受け付けます。先着順のため、窓口は木江本所のみといたします。

【申込メ切】令和3年2月17日(水)17時まで 【定員】10名 【参加費】無料

【問い合わせ先】社協本所 ☎62-1718(担当:波多野) Email: o-chiikifukushi@syakyo.net

【備考】どちらかのみ参加も可能です! パソコンやタブレットがない方へ当日無料貸出を行います。



まちのお宝発見！

まちの未来の交通編



12月18日、大崎上島町スマートアイランド推進協議会が主催する、東野地区白水港から垂水港までの区間を自動運転で走行する車の試乗モニターに参加しました。

この実証実験は、オンデマンド交通技術と小型自動運転車両を活用した島内の新たな交通・物流手段の確立を目指す取り組みで、当日は、白水港物揚場から古江集会所までの区間を乗車しました。

近年、ドライバーの高齢化や人材不足、公共交通手段の利用者の減少が深刻化し、その維持が危惧されています。この自動運転車両技術は、近い将来の新たな交通手段や物流手段として期待されています。

ハンドルが勝手に動いとるで！



試乗した自動運転車両は、タブレット端末で行先入力などの操作が必要となります。



実際に車両に乗ってみると、当日は速度が約3～5キロ程度しか出せないこともあり、自動車に乗る私にとっては物足りないという印象でした。しかし、実用化されると最高10～15キロ程度の走行になるとのことです、ますます交通・物流の幅が広がり、私たちの生活が少しでも便利になってほしいと思います。

ただ、課題は山積みです。まだスマホやパソコンを利用されている高齢の方が少なく、自動運転によるサービスを必要とする方のほとんどが、デジタル機器を普段の生活に取り入れていない状況があります。

前ページの講習会など、少しでも多くの方にデジタル機器に触れていただき、個人が使いこなせるようになり、使う回数が増えることで、結果、多くの住民が利用できる仕組みになっていくと思います。

これから少しずつ、こつこつと、デジタル技術とお友達になっていきませんか！？



いま一度、自分の生活を振り返ろう！

じぶんにできる自分と相手のためのコロナ対策！



うつらない、うつさない



- こまめに手洗いしよう
- マスクを着用しよう
- 3密を避けよう



体を動かそう



- 家の中や庭で体を動かそう
- 家の近所を散歩しよう
- 座っている時間を減らそう



きちんと食べよう



- 3食しっかり食べよう
- 主食・主菜、副菜を取ろう
- 定期的に体重を計ろう



磨こう、噛もう



- お口の健康は肺炎の予防
- 人と会わなくても歯磨きを
- 入れ歯の掃除は丁寧に



誰かと話そう



- 家族や友人と電話で話そう
- 手紙やメールなどを活用
- 積極的に交流しよう

(厚生労働省ホームページより抜粋)



島だからこそできる、家族のような、安心につながる、ほっとかない「互近助」どうしの支え合いをこれからも続けていこう！



注意 気づかないうちに重症化！「低温やけど」にご注意を！

低温やけどは体温より少し高いくらいの熱に長時間当たり続けることが原因で、熱さを感じにくく皮膚の薄い高齢者や麻痺のある方、手足の循環の悪い方に起こりやすいやけどです。

普通のやけどより皮膚の奥深いところで進行するため治りにくく、重症化しやすいので注意が必要です。寒い日に活躍する暖房器具の安心な使い方を紹介します。

①湯たんぽ・電気あんか

就寝前に布団に入れて布団を温めるために使います。就寝時は布団から出しましょう。途中で足が冷たくて目覚める方は、靴下を履いて寝てはいかがでしょうか。



②使い捨てカイロ

貼るタイプの物は必ず衣類の上に貼ります。貼ったまま眠ったり炬燵に入ると、長時間同じ場所に当たり続けたり急激に温度が高くなったりする場合があります危険です。

同じ理由で、貼った部分をサポーター等で固定や圧迫しないようにしましょう。



③電気毛布

一晩中使用することで低温やけどを引き起こす場合があります。

就寝前に電源を入れて温め、就寝時には電源を切るかタイマーを設定しましょう。

《相談窓口・問い合わせ》 大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9 (木江保健福祉センター内)

まち “地域びと”コラム

ひとの心をつなぐ音楽療法

認知症/施設の現場から 高田 艶子(音楽療法士)

音楽療法、人気いちばん曲は ②

なんといっても、『北国の春』。多くの文献で、トップ曲と報告されています。

集団歌唱の現場でも、平均年齢80代半ばの認知症のひと20名が、顔をかがやかせ、声を張りあげて、熱く歌います。自然にそうなる、不思議な曲です。

理由を考えてみました。

作詞:いではく、作曲:遠藤実。千 昌夫が歌ってヒットした、この曲の特徴。

第1は、出だしの旋律がリズムカルで、美しいこと。前奏のメロディが響きだすと、もう、みんなの心は揺れて、「歌いたい」気持ちでいっぱい。いつもです。

第2は、歌詞に日本人なじみの名詞が、ずらり並んでいること。歌詞の一番には、「白樺」「青空」「南風」「こぶし咲く丘」「北国」「春」「季節」「都会」「おふくろ」「小さな包み」「あの故郷」と、てんこ盛り。

『北国の春』は、認知症のひとの、回想と思い出いっぱい宝箱なのです。

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和2年12月12日～令和3年1月15日 お申し出分】

【香典返し】

- ・明石 高本 正夫 様 (故母 サドミ様)
- ・中野 勝村 昌史 様 (故母 五月 様)
- ・中野 池田 永敏 様 (故母 里子 様)
- ・東野 高橋 美知子様 (故夫 久光 様)
- ・中野 末田 卓也 様 (故父 定三 様)

【一般寄付】

- ・中野 檜山 善茂 様
- ・東野 岡本 延子 様
- ・匿名 (4名様)

【生前のお礼】

- ・東野 鐘江 栄子 様 (故夫 勝喜 様)
- ・明石 森下 哲成 様 (故父 春洋 様)
- ・東野 越智 直文 様 (故母 ナミ子様)
- ・東野 岩本 薫 様 (故母 美佐子様)
- ・中野 故 先田アイ子様
- ・沖浦 脇田 一彦 様 (故母 一子 様)
- ・原田 岡田 千里 様 (故母 土本ヨシエ様)



介護者家族会

～2月定例会のご案内～

日時：2月12日(金)

10:00～11:30

場所：大崎老人福祉センター
1階「すまいる一む」

対象者：在宅で介護されている方
もしくは、介護されていた方

※予定変更の可能性あり

認知症の人と家族の会

～2月定例会のご案内～

日時：2月26日(金)

9:30～11:30

場所：オレンジハウス

対象者：認知症状がある方

在宅で介護されている方

※予定変更の可能性あり

ふくし相談会 & 暮らしの相談会

2月開催の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**中止**といたします。個別での相談対応はいたしますので、直接お問い合わせください。

☎ 62-1718(社協)

67-0022(包括)

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で、町内の公共施設が休館していることを踏まえて、社協ふれあいサービス事業及びストレッチ教室、健康体操並びに各地区ふれあいサロンを当面の間、中止しております。ご利用いただいている皆様には、ご心配とご迷惑をおかけし申し訳ございません。

社会福祉協議会では、行政や県社協などの対応をもとに、感染拡大防止対策を実施しております。対応につきましては、大崎上島町社会福祉協議会ホームページで更新しておりますのでご覧ください。(大崎上島町ホームページにも、町内の対応について記載があります)

大崎上島町社会福祉協議会 ホームページアドレス <http://www.syakyo.net/>

＜生活福祉資金特例貸付のお知らせ＞

引き続き、新型コロナウイルスによる感染症の影響で収入が減少したり、失業した方を対象に一時的な生活費の貸付を行っています。詳しくは社協ホームページをご覧ください。☎ 社協 本所 ☎ 62-1718 (担当：塩飽)

「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。